

令和4年度 第2回 議員勉強会について(案)

目 的

三重県においては、大学進学時と卒業後の就職時に県外へ多くの若者が転出していることから、執行部では、学びの選択肢の拡大や若者の県内定着、さらには地域を担う人材の確保に向けて、県立大学の設置について検討しています。

県議会においても大学設置の必要性について議論されており、第1回勉強会では、県内就職率が7割を超え、若者の県内定着に成果を出している大学の取組等を聞きました。

今回は、三重県議会の議会改革で大変お世話になっている法政大学 廣瀬 総長から、法政大学の人材育成の方針、今後の大学の在り方、大学経営等についてご講演いただき、今後の三重県における大学の在り方を考えます。

日時・場所

令和4年11月21日(月) 議会運営委員会終了後
三重県議会議事堂3階 全員協議会室

講師

法政大学

総長 ひろせ 廣瀬 かつや 克哉 氏

演題

地方創生と

大学における人材育成について

【講師紹介】

廣瀬 克哉（ひろせ かつや）氏

1958年奈良県生まれ。1981年東京大学法学部卒業。

同大大学院法学政治学研究科修士課程修了後、1987年同大大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学、同年法学博士学位取得。1987年法政大学法学部助教授、1995年同教授、2014年より法政大学常務理事（2017年より副学長兼務）、2021年4月より総長。

専門は行政学・公共政策学・地方自治。複数の自治体で情報公開条例・自治基本条例・議会基本条例などの制定を支援の他、情報公開審査会委員などを歴任。